

7月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13 東急合同 消防訓練	14 全園児 歯科検診	15	16 オト キャッチ	17	18	19
20 乳児検診	21 ホナガさんの ワークショップ	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

保健師より

緊急非常事態宣言が解除されてから1か月が経ちます。『新しい生活様式』が提言され、保護者の皆さまにご協力いただきながら園でも様々な取り組みをしています。新型コロナウイルス感染症を乗り越えていくために、3密の回避、手洗い等の予防対策についてしばらくは園でも続けていき、『新しい生活様式』について子ども達と一緒に作りあげていきたいと思えます。

さて、梅雨が明けると本格的な夏がやってきます。昔は日光浴が健康や発達にいいと言われていましたが、今は熱中症や日焼けが心配です。特に小さな子どもたちは体温調節がまだ上手にできません。しっかり熱中症対策をして夏を元気に楽しみ、楽しい思い出をたくさん作っていきましょう。

6月の感染症

流行性感染症の発生はありませんでした。

○全園児歯科検診予備日 7/14(火) 10時半～

6/29の歯科検診をお休みした方はなるべくお休みにならないようお願いいたします。

○0歳児乳児健診 7/20(月) 9時半～

つばみ組のみなさんは当日なるべくお休みにならないようご協力をお願いいたします。

July 2020

2020.7.1 発行

small alley post

東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように！』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

7月の保育主題

『空と海と大地と歌う』

あらゆるものが活動的になり、動き出す

「ザリガニマスター、Yくん」

保育が再開し、園に子どもたちが戻ってきました。子どもたちのおしゃべりや笑い声、泣き声が聞こえるとほっとします。“楽しいことがあったのかな”、“うまくいかないことがあったのかな”そんなことを考えながら毎日耳を傾けています。

6月から2階のすみれ組にザリガニがやってきて、ふたば組の子どもたちからも「(ザリ)ガニ!」「ガニ!」と大人気です。しかし今いるザリガニ、実は3代目なのです。

1代目のザリガニは職員が自粛期間中に釣ってきた小さなザリガニ4匹でした。水槽に入れて2日は元気にスイスイ動いていました。いざ保育再開の初日、園に着くなり、けやき組のTくんがやってきて「みて、動かないの」と教えてくれました。そこには微動だにしないザリガニの姿がありました。どうやら原因は準備した餌のサイズが大きすぎたからのようです。動かないザリガニをじっと見つめるすみれ組のYくん。大人が提案し、動かないザリガニを土に埋めにいきました。

2代目はつばき組の保護者の方が釣ってきた少し大きめのザリガニです。餌も食べられるし、今度こそは、と意気込んでいましたが、このザリガニも残念ながら動かなくなりました。なぜなのか図鑑を読むと、どうやらポンプがない場合は水嵩が低くないと酸素を取り入れられない、水位に問題があったようです。

そして現在の3代目です。このザリガニも同じ保護者の方から譲り受けたものです。水槽の水位を下げ、餌やりカレンダーもつくって今度はバッチリです。

すみれ組のRくんと一緒にザリガニのところへ行くと、餌の戸棚を指さします。棚の中には2種類の餌があり、「どっちかな?」と話していると、そこへ猛スピードでYくんがやってきました。

「ザリガニに餌をあげたいんだよね」と声をかけると、さっと一つの餌袋を選び、少量をつまんで水槽に入れます。この餌の量がまた絶妙なのです。少なすぎず、多すぎない。餌に気づいたザリガニが石の中から出てきて、餌を食べる姿に2人とも満足そうでした。

そして何より驚いたのが蓋の閉め方です。当初は蓋が水槽の中に入ってしまったたり、投げてみたりと大人が必ずつかないとできないことでした。しかし、餌やりが日常となったYくんにとっては蓋しめまでが一連の流れとなっていたのです。水槽の上部と蓋を平行にさせてからかぶせれば、ちゃんと閉まることがわかったようで、驚くほどにスムーズに蓋をしていました。

毎日餌やりをこなすことで、自分でコツをつかんだのだと感心しました。餌やり一つにとっても形を合わせる、高さを合わせるといった感覚と出会います。遊びの中にはたくさんの学びが潜んでいると感じる瞬間でした。園にあるどのパズルよりも難しい、立体の水槽のパズル。子どもの遊びの中には教えこまれるよりも貴重な体験がたくさんつまっています。一人一人が思う存分遊びこめる環境を保育者とともに考えていきたいです。



渋谷東しぜんの国こども園 園長
名古屋 彩佳

保育エピソード 「ライオンいるよ」

最近芝生の川を指差し「ライオンいるよ」と教えてくれるTくん。

今日も芝生に出かけると川の前へ。(いつものセリフ、来るかなあ)とまっていると、「ライオンいるよ」とTくん。(やっぱり今日もいるんだ)と心の中でクスッと笑う。「ライオン何してるの?」と聞くと、説明口調で随分と長い間お話ししてくれた。よく聞き取れなかったが、Tくんの表情や身振りから真剣な気持ちが伝わってくる。最後の一言ははっきりと聞こえた。「ワニワニいるよ、こわいねえ」と困り顔で話す。想像の中のワニにおびえるTくんだった。

川の前にはまるで動物園のオリのような柵が立っている。動物園に行った経験や、絵本で見たことから、川の前柵=動物園のオリというように繋がったのかもしれない。だからこそ、オリの向こう側である川を指差し「ライオンいるよ」と話していたのではないか。今日は新たにワニが登場し、(そうきたか〜!)とワクワクした。Tくんの想像の世界が広がってきていることを感じる。次はどんな動物が登場するのか楽しみだ。

今月のsmall alley play ground ピックアップスポット



ウミネコカレー 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷1丁目3 2-1 6

こんにちは、キッチン藤村です。僕が紹介したいのは現在幡ヶ谷にお店を構えるウミネコカレーです。僕はバンドをやっているのですが、こちらの店主の古里さんも音楽をやっていて、まだバンドをやりたい頃の頃に縁がありプロデュースをしてもらうことになりました。まだその時はカレー屋をオープンしていなかったのですが、よく家でオリジナルのカレーを作っていたのが自慢の思い出です。

とにかく美味しくてさらっと感触できてしまいます。個人的にサラダのドレッシングも大好きな味です。幡ヶ谷に行く機会がありましたら是非行ってみてください!